



平成 29 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 夢 展 望 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 濱 中 眞 紀 夫  
(コード：3185 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 田 中 啓 晴  
(TEL. 072-761-9293)

子会社に対する債権取得及びそれに伴うその他の収益の発生（連結）に関するお知らせ

## 1. 子会社債権の取得について

### (1) 経緯

当社は、平成 29 年 4 月 28 日付「株式会社トレセンテの株式の取得（子会社化）及び新たな事業の開始に関するお知らせ」で公表しましたとおり、株式会社ニッセンホールディングス（以下「ニッセンホールディングス」といいます）が保有する株式会社トレセンテ（以下「トレセンテ」といいます）の発行済普通株式の全部を取得しトレセンテを子会社化することを決定し、同日、債権取得についても下記（2）のとおり決定いたしました。そして、同日の平成 29 年 4 月 28 日に予定どおり、株式とともに債権を取得いたしました。その時点では、当該債権の会計処理についての方針が決定していなかったため、本日開示するものであります。

### (2) 債権取得の概要

対象債権	ニッセンホールディングスが有するトレセンテに対する貸付債権 561,522 千円	
取得価額	1 円	
取得日程	取締役会決議日	平成 29 年 4 月 28 日
	債権譲渡契約締結日	平成 29 年 4 月 28 日
	取 得 日	平成 29 年 4 月 28 日

## 2. 債権取得に係るその他収益の計上について

当社が平成 30 年 3 月期より適用する国際会計基準に照らして当該金融債権を償却原価に基づき測定した結果、平成 30 年 3 月期の連結決算において、当該債権取得価額と当該債権との額面の差額を債権評価益 561,522 千円として「その他の収益」に計上する見込みとなりました。

なお、日本基準においては取得原価主義の観点から夢展望が 1 円で取得した債権を 561,522 千円に評価替えることは出来ず、資本連結上トレセンテが保有する対応する債務を夢展望の取得価額に評価替えることでしか夢展望が保有する当該債権とトレセンテが保有する当該債務を連結上相殺消去する方法がなく、その結果、トレセンテの個別財務諸表上の純資産額である▲133,212 千円（平成 29 年 4 月 28 日現在）に、連結上の評価差額 561,522 千円が加算され、連結上のトレセンテの純資産は 428,309 千円となり、夢展望の子会社株式取得価額である 1 円との差額 428,309 千円が負ののれんとして連結上で認識され、連結の当期純利益を 428,309

千円増加させる見込みとなっておりました。一方で、平成 29 年 5 月 15 日に決議した国際会計基準では、本債権取得及び本子会社株式取得に係る取引実態に即して、当該債権金額を償却原価により 561,522 千円と測定することに伴い認識された債権評価益 561,522 千円の発生と、トレセンテが有する超過収益力としての正ののれん 133,212 千円の資本連結での認識を区分して考えることから、債権評価益 561,522 千円が連結の当期利益として認識されることが見込まれます。

### 3. 今後の見通し

本件に関しましては、本日付で公表いたしました平成 29 年 3 月期決算短信に記載の平成 30 年 3 月期の連結業績予想に反映しております。

以上